

令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第1回）【概要】

日 時：令和5年7月25日（火）午前10時から正午まで
会 場：ホテルプラザ菜の花 5階「あやめ」

1 出席委員（敬称略・名簿順）

谷口 和巳、吉野 毅、横瀬 正史、武富 恒徳、日根野 達也、三浦 明久、酒井 昌史、
佐久間 勝彦、粕谷 哲也（副会長）、石川 和之（会長）、菊池 清美

2 次第

(1) 開会のことば

(2) 県教育委員会あいさつ

(3) 委員紹介

(4) 会長、副会長選出

(5) 報告

①令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜における採点誤りについて

②令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

ア 結果について

イ 調査書の評定について

ウ 中学校及び高等学校からの意見について

③令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

ア 入試日程について

イ 令和6年度千葉県公立高等学校第1学年入学者選抜要項について

ウ 選抜方法について

④ その他

(6) 協議

① 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

② 令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案について

③ 入試改善を受けて実施される令和6年度選抜について

④ その他

(7) 閉会のことば

3 報告に対する意見・要望等

① 令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜における採点誤りについて

→改善を進めるに当たって、特にマークシートの導入については直接受検者に影響する。

中学校や高校で必要な対応はあるか意見を募った。

- ・マークシート方式に関して、数校の私立高校でのマークシート実施、中学校での全国学力学習状況調査、マークシート模試、小学校でのスポーツテスト等で使用しているため、受検者にとって特に問題はないと感じる。(複数意見)
- ・大学入学共通テストでもマークミスが出ている現状があることから、受検者が緊張等でマークミスをしないか不安である。(複数意見)
- ・マークシートに関しては、採点間違いが非常に少ないという点においては、メリットがあると思われる。
- ・マークシートについては、現場の先生方は肯定的に受けとめている。
- ・マークシートをシステムに登録する作業について、ダブルチェック以上の確認作業が必要であると感じる。
- ・マークシートを体験していない受検者にはサンプルを提示すれば、中学校で説明ができ、丁寧に対応することも可能だと思われる。
- ・今後の人生を決定する重要な高校入学者選抜であるため、中学校での指導、受検当日に高校が注意すべきことを考え、念には念を入れた準備や声掛けをしていただきたい。
- ・初めて高校入試で実施するため、マークシートの塗り方について、どれくらいの濃さまで読み取れるのかを確認する等、マークシートで悩むことがなく、受検者が学力検査に集中できるよう、確実に伝達し、準備していただきたい。
- ・受検番号のマークミス等については、監督者等がチェックするとともに、気がついた時点で、受検者に修正してもらおう等、柔軟な対応が必要である。
- ・高校の先生方は、細心の注意を払ってこれまでも採点してきた。それでもミスは防げなかった。今後、県教育委員会とも連携を深め、ミスが出ないように取り組んでいきたい。
- ・採点誤りについて、誤り発覚後すぐに校内マニュアルの点検を始めた。県統一のマニュアルの内容を確認し、校内マニュアルの整理を行う。
- ・公正な採点をしなければならないことは私立も同じである。**【改善策4】**の臨時休業日は必ず設定する。授業日に採点を行えば、先生方が生徒や授業のことを考えることもあり、採点ミスは起こり得ると考える。
- ・採点側の先生からは、受検者が多い学校の採点を短時間で行うのは、かなりストレスを感じると伺っている。一部マークシート方式導入しても、変わらないのではないかな。
- ・学力検査から発表までの時間を確保できればいいが、入試を実施しながら、在校生の考査、卒業式等があるため、入試業務に専念する環境を整備しにくい状況である。
- ・採点誤りについて考えることは大切だが、誤りやミスは起こりうるものである。起こった際、どう対処するか、リスクマネジメントとしてそういった視点も、持っておく必要がある。

② 令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

→令和5年度選抜の実施状況結果、学力検査結果の概要、中学校及び高等学校からの意見等について報告し、その内容について質問・意見を募った。

- ・インターネットで出願をした後も、中学校は志願者がプリントアウトした願書に職印を押したものを郵送するなど、インターネット上で完結しない。私立高校のように、出願は全てインターネット、調査書は郵送という形に、シンプルにしてもらいたい。

③ 令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

→令和6年度選抜の選抜要項、日程、令和5年度選抜との主な変更点について説明し、その内容について質問・意見を募った。

4 協議内容

① 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

【事務局説明概要】

- ・令和3年～5年度実施アンケート結果から、回答者の立場による相違、比較的否定的な意見が多く見られる項目等を、現行の入学者選抜の課題を検証するにあたっての視点と設定。

ア 入学者選抜を一本化したことについて（問4、5、7、8、10、11、12）
選抜方法等も含め、入学者選抜全体への影響について等

イ 学力検査の日程について（問8、9、15）
学力検査の2月下旬の実施や、学力検査を2日に分けて実施すること等

ウ 調査書について（問16）
県が定める評定合計の標準値（95）を廃止したことの影響等

エ 学力検査について（問18、19）
英語の検査時間を60分としていることや国語の聞き取り検査の必要性について等
教育委員会会議で取り上げられた学力検査における無答率の高さについて

- ・資料4から分かるように、公立高校の定員未充足数の増加の背景を考えると、公立高校の入試日程を早めるのはいかなものか。また公立高校の入学定員の削減を望む。

② 令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案について

【事務局説明概要】

- ・令和7年度入学者選抜における日程について4案を提示
- ・4案とも2日間の検査日の間に休日を挟まず、検査の前日・直後が週休日とならない日程
- ・4案とも令和6年度と比べ、本検査から入学許可候補者の発表までの間を1日増やした日程案
- ・「本検査から追検査受付までの間隔を1日増やした」案、及び「追検査から発表までの間隔を1日増やした」案に、それぞれ日程が異なる2種類の案の計4案を提示

→周りからヒアリングをして第2回で意見を伺う。

③ 入試改善を受けて実施される令和6年度選抜について

【事務局説明概要】

- ・「マークシート」
- ・「デジタル採点システム」の採用
- ・「合否のボーダーライン付近の答案点検の実施」
- ・「採点・点検を行うための臨時休業日を追加設定可能にする」
- ・「採点・点検に関する県教育委員会のマニュアル作成」の5点を改善策として公表

→改善策については第2回で協議する。

④ その他

- ・今後の日程について、第2回は10月初旬、第3回は11月上旬を考えている。日程については今後都合調査をさせていただく。